

千葉大学医学部附属病院で低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症に対するゴナドトロピン療法施行後に顕微鏡下精巣内精子採取術を施行された患者の皆様へ

2025年12月24日

千葉大学医学部附属病院泌尿器科

泌尿器科では、低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症に対するゴナドトロピン療法施行後に顕微鏡下精巣内精子採取術（micro-TESE）を施行された方に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報をを利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2000年1月1日～2025年3月31日の間に低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症に対するゴナドトロピン療法施行後に顕微鏡下精巣内精子採取術（micro-TESE）を施行された方

1. 研究課題名

「低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症に対するゴナドトロピン療法施行後に顕微鏡下精巣内精子採取術（micro-TESE）を施行した症例の検討」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究では、男性不妊症の原因となる低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症に対するゴナドトロピン療法施行後に顕微鏡下精巣内精子採取術（micro-TESE）を施行した方の患者背景や検査結果、病理組織標本などを検討することで、男性不妊症に影響する因子を解明する予定であります。

本研究においては、各共同研究機関において、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えられた情報・試料が千葉大へ提供されます。氏名等と研究 IDとの対応表は外部には提供されません。

試料は共同研究機関において手術時に作成された病理プレパラートです。

千葉大学では、試料が個人を識別できないように加工されていることを確認した後、山口大学へ郵送し、試料解析を行います。解析後、病理プレパラートは共同研究機関へ返却されます。

山口大学から千葉大学へ提供された解析結果は、共同研究機関より収集された情報と統合し研究に活用します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- A) 診療録に記載されている年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴
- B) 診療録に記載されている血液検査等の臨床検査結果
- C) 手術時に採取された精巣組織検体

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院 泌尿器科	坂本 信一
共同研究機関名	研究責任者
国際医療福祉大学	高山 達也
神戸大学	千葉 公嗣
東邦大学医療センター大森病院	小林 秀行
山口大学	白石 晃司
名古屋市立大学大学院 医学研究科	武田 知樹
大阪大学	竹澤 健太郎
筑波学園病院	山崎 一恭
いちおか泌尿器科クリニック	市岡 健太郎

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どな

たのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院泌尿器科科および各共同研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがあります、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学及び各共同研究機関のホームページをご参照ください。

千葉大学：

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。 試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

泌尿器科 准教授 坂本 信一

043(222)7171 内線8354